

2018年度

事業報告書

公益財団法人NHK交響楽団

はじめに

2018年度、NHK交響楽団はNHKホール、サントリーホールをはじめ国内外で110回余の演奏会や録音を行った。

就任から4シーズン目を迎えた首席指揮者のパーヴォ・ヤルヴィは、定期公演での熱演に加え、当団とのコンビではアジアで初となる香港公演を成功させた。また、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットによるドイツ・プログラム、ヘンゲルブロック指揮によるバッハの声楽曲などお客様の心に残る演奏が続いた。

外国公演は、香港公演のほかにも日越外交関係樹立45周年を記念したベトナム公演を行い、日本とベトナムとの友好関係の更なる発展に大きく寄与することができた。

子どもたち向けのアウトリーチ活動として定着した「N響こども音楽クラブ」、次世代のプロオーケストラ奏者を育成する「N響アカデミー」など、オーケストラとしての社会貢献事業にも継続して取り組んだ。

こうしたなか、日本の音楽文化向上と発展への功績が認められ、ヘルベルト・ブロムシュテットに2018年春の叙勲で旭日中綬章が贈られた。また、正指揮者尾高忠明が放送文化の発展に貢献したことで第70回日本放送協会放送文化賞を、当団が近年の充実した演奏やプログラミングが評価され第31回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をそれぞれ受賞した。

事業の推進にあたっては、「2018年度～2020年度中期経営方針」に基づき、「国際化」と「ICT化」を柱に取り組んだ。刊行物やホームページでは曲目解説、演奏者紹介などの英語記述を新たに加えたり、一部の演奏会をインターネットで高音質配信する試みを行ったりして、いつでもどこでも、とりわけ海外でも当団の演奏を容易に聴くことができるよう挑戦を続けている。

インターネットは、従来からチケットの予約、販売やプロモーションでも活用してきており、「WEBチケットN響」の利用率は70%を超えた。また、SNSを使った演奏会情報などの効果的な発信を充実させて、当日券を含む1回券の販売促進に繋げた。

これらの事業執行にあたっては、予算執行の適正性の確保、個人情報の厳格な取り扱いやコンプライアンスの徹底を図るとともに、働き方改革に着手するなど、公益財団法人として適切な業務管理に努めた。

I 演奏活動

1. 定期公演

今年度は 27 プログラム・54 公演と例年どおりの実施となった。Aプログラムと CプログラムはNHKホール、Bプログラムはサントリーホールと、従来同様の会場で行った。

<4月>

桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットがすべての公演を指揮し、ベートーヴェンの《交響曲第4番》、《第7番》、《第8番》、ベルリオーズの《幻想交響曲》などを演奏した。ベートーヴェンの《ピアノ協奏曲第4番》のピアノ独奏マリア・ジョアン・ピレシュは、「N響最も心に残ったソリスト 2018」で第1位となった。

<5月>

首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィがシベリウスを中心にしたプログラムやオール・ストラヴィンスキー・プログラム、またピアノのアレクサンドル・トラゼを迎えたショスタコーヴィチの《ピアノ協奏曲第2番》など、3つの公演すべてを指揮した。

<6月>

桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージが、没後 100 年となったドビュッシーの作品や、ヴァイオリン：庄司紗矢香、ピアノ：ヴィキンガー・オラフソンという若手実力派とともにメンデルスゾーンの作品を演奏。また、正指揮者尾高忠明がチャイコフスキーの《交響曲第5番》などを指揮した。

<9月>

5月に続いてパーヴォ・ヤルヴィが登場。継続して取り組んでいるマーラーの交響曲から《第4番》、ホルンの名手ラデク・バボラークとR. シュトラウスの《ホルン協奏曲第2番》などを演奏。また、オール・シベリウス・プログラムでは初来日したエストニア国立男声合唱団などと《クレルヴォ》を共演した。

<10月>

ヘルベルト・ブロムシュテットが、モーツァルト、ブルックナー、ベートーヴェン、マーラーなどを指揮。「最も心に残ったN響コンサート 2018」では、マーラーの《交響曲第1番》などのCプログラムが第1位、ブルックナーの《交響曲第9番》などのAプログラムが第2位となった。

<11月>

2005年以來何度も共演しているジャンドレア・ノセダが指揮。ラフマニノフ《交響的舞曲》や、アリス・紗良・オットをソリストとしたラヴェルの《ピアノ協奏曲》など二つのプログラムを演奏。また広上淳一の指揮では、バーバー、コープランド、アイヴズというアメリカ・プログラムに取り組んだ。

<12月>

12月にふさわしいプログラムとして、当団の定期公演では20年ぶりとなるバッハの声楽曲をトーマス・ヘンゲルブロックの指揮、初来日したバルタザール・ノイマン合唱団と共演。また、ウラディーミル・フェドセエフ指揮でチャイコフスキー《バレエ音楽「くるみ割り人形」》、アレクサンドル・ヴェデルニコフ指揮でグラズノフの作品などを演奏した。

<1月>

4シーズン連続で登場しているトゥガン・ソヒエフが、ベルリオーズ《交響曲「イタリアのハロルド」》(ヴィオラ独奏:佐々木亮) やリムスキー・コルサコフ《交響組曲「シェエラザード」》などを指揮。ステファヌ・ドゥネーヴとはレスピーギ《交響詩「ローマの松」》などを演奏した。

<2月>

パーヴォ・ヤルヴィがすべての公演を指揮。ハンス・ロットの《交響曲第1番》、アレクサンダー・ガヴリリョクを独奏に迎えたラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》、また、演奏頻度の少ない小品と《バレエ音楽「春の祭典」》を組み合わせたオール・ストラヴィンスキー・プログラムなどを演奏した。

■ 定期公演入場者と定期会員（席）数

2018年度の定期公演入場者数は、116,577人（前年度比6,378人増）であった。（2017年度は、サントリーホールの改修工事によりBプログラムが年間6回少なかった。）

定期会員（席）数は、年間会員・シーズン会員合わせて8,470人（同771人減）、うち年間会員は7,360人（同480人減）となった。団体による大口購入の終了などが影響している。

■ 定期公演の収入

定期公演のチケット収入は、5億9000万円余り（前年度比4000万円増）で8.1%

の増収となった（公演回数の少ない2017年度との比較）。

定期公演のチケット収入の73%は定期会員券によるものだが、1回券の販売比率が年々増加しており、全体の4分の1を占めるようになった。また、2018年度は、54公演のうち16公演のチケットが完売となった。

（1回券販売枚数 年間38,629枚（前年度比296枚減）、月平均4,292枚（同33枚減）でほぼ横ばい。）

2. 特別公演

定期公演以外に当団の主催で以下の公演をおこなった。

（1）Music Tomorrow 2018

内外の優れた現代音楽を取り上げて演奏する当団では唯一の現代音楽だけの公演。第66回尾高賞授賞作品の坂田直樹《組み合わせされた風景(2016)》のほか、当団の委嘱作品である鈴木純明《リュウベックのためのインヴェンションⅢ「夏」(2018)》の世界初演、ジェームズ・マクミラン《オーボエ協奏曲(2010)》の日本初演（オーボエ独奏：フランソワ・ルルー）などを演奏した。

また、演奏会の冒頭で第66回尾高賞の授賞式を行った。

（6/26 東京オペラシティ・コンサートホール）

（2）N響「夏」2018

恒例のサマーコンサート。ユッカ・ペッカ・サラステ指揮でブラームス《交響曲第1番》やバイバ・スクリデの独奏でシベリウス《ヴァイオリン協奏曲》などを演奏した。

（7/20 NHKホール）

（3）松山公演

愛媛県内の多くの企業の協賛をいただいて毎年行っている。演奏内容はN響「夏」2018と同じ。

（7/22 ひめぎんホール）

（4）N響ほっとコンサート

夏休み期間中に少年少女やファミリー向けの演奏会として実施した。今回は、「シンフォニック・スペクタクル」をテーマに掲げ、《スター・ウォーズ》からメ

シアン《トゥランガリラ交響曲》まで、オーケストラのだいご味を味わえる 20 世紀の作品を集めて演奏した。指揮は、パーヴォ・ヤルヴィのアシスタントを務め当団初登場となる熊倉優が務めた。

ホールのロビーでは様々な楽器を用意した楽器体験コーナーを設け、開演前と終演後に当団楽員らが直接、子どもたちに手ほどきをした。

(8/5 NHKホール)

(5) 「第九演奏会」

1985 年以来当団と共演を重ねているマレク・ヤノフスキが指揮をした。

(12/22,23,24 NHKホール)

(12/27 サントリーホール)

3. NHK 音楽祭

NHKの音楽イベントとして 2018 年で 16 回目を迎えた。今回は、パーヴォ・ヤルヴィとオルフ《踊る牧神》(日本初演)、オルフ《世俗的カンタータ「カルミナ・ブラーナ」》などを演奏した。

(10/1 NHKホール)

4. 全国各地での公演

NHKとの共催で大分、宮崎、鹿児島、熊本、大津、奈良、西宮、大阪、京都の 9 都市で公演を行った。

なお、当初予定していた鳥栖(佐賀県)での公演は大雨の影響により中止となった。

5. 外国公演

(1) ベトナム公演

日越外交関係樹立 45 周年を記念して当団創立以来初となるベトナム公演を行った。ホーチミン、ハノイでの公演は、いずれもフランス統治時代に建てられた歴史あるオペラハウスを会場に、井上道義の指揮でチャイコフスキー《交響曲第 4 番》、当団との共演も多いクリスティアン・テツラフのヴァイオリン独奏でラロの《スペイン交響曲》などを演奏した。

ハノイ公演にはチャン・ダイ・クアン ベトナム社会主義共和国主席(当時)、梅田邦夫駐ベトナム大使、本名徹次ベトナム国立交響楽団音楽監督ら日本、ベト

ナムの関係者が多く来場した。

また、ホーチミンでは公演前のリハーサルをホーチミン市交響楽団のメンバーや音楽学生が見学、またハノイ公演翌日には、井上道義が指揮者希望者のための講習会を開くなど、日本とベトナムの音楽交流にも努めた。

(9/5 ホーチミン市オペラハウス)

(9/7 ハノイ オペラハウス)

(2) 香港公演

香港最大の舞台芸術イベント「香港アート・フェスティバル 2019」に参加した。首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィとプロコフィエフ《交響曲第6番》、中国出身のツウオ・チャンを独奏に迎えたラヴェル《ピアノ協奏曲》などを演奏した。

「香港アート・フェスティバル」への参加は2002年以来だが、アジアにおけるパーヴォ・ヤルヴィと当団とのコンビによる演奏は日本以外では今回が初めてとなった。

(2/28 香港文化センター コンサートホール)

6. 契約公演

2018年度に実施した契約公演は36。

- ・ 都内は、東京春音楽祭、東京文化会館、オーチャード定期、東京芸術劇場、東京オペラシティ、かつしかシンフォニーヒルズ、サントリーホール、NHK厚生文化事業団 第九公演
- ・ 関東は、横浜、川崎、さいたま、草加、市川、足利
- ・ 全国各地の都市では、磐田（静岡県）、軽井沢（長野県）、豊田（愛知県）、姫路（兵庫県）、宜野湾（沖縄県）、下関（山口県）、福山（広島県）、津（三重県）、新潟（新潟県）、郡山（福島県）、いわき（福島県）、福岡（福岡県）、福井（福井県）、名古屋（愛知県）、高松（香川県）、長岡（新潟県）

で公演を行った。

*安城（愛知県）での契約公演は、悪天候のため主催者の判断で中止となった。

II 放送への出演

2日間行われる定期公演の1日目は、毎回FM放送で生放送されており、またテレビ録画されて後日Eテレ「クラシック音楽館」で放送されている。2018年12月か

ら8K・4Kスーパーハイビジョン本放送が開始されており、2019年2月のCプログラム1日目公演(2/15)は、8Kスーパーハイビジョンで生放送された。

また、大河ドラマ「いだてん」テーマ曲の録音、名曲アルバムの録音を行った。

公開収録として「RUN! HOPE! RUN! ～N響×大友良英×いだてんコンサート」をNHKホールで行った(3/10)。大河ドラマ「いだてん」をはじめとする大河ドラマのテーマ曲、前回の東京オリンピックに関連した楽曲、昭和の名曲などを下野竜也指揮で、新国立劇場合唱団、大友良英スペシャルビッグバンドなどとともに演奏した。

(放送：BSP3/31 総合 5/5)

Ⅲ 特別支援・賛助会員

2018年度末の特別支援は5社で変動はない。賛助会員(1口50万円、個人を含む)は、192社(人)282口で、前年度に比べ2社(人)減となったが、合計の口数では1増となった。景気に明るさが出てきた一方で、企業の広報やCSR活動は多様化し、近づく東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツイベントへのパワーシフトもあって、賛助の数は一進一退が続いている。

Ⅳ 広報・事業活動

1. インターネットの活用

従来のパンフレットやチラシに加えてインターネットを使った広報により力点を置き、ライブ感や速報性を生かした周知宣伝を行った。4シーズン目に入った首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィや桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットらがその音楽観を語ったり、公演で取り上げる曲目を判りやすく解説したりする動画「マエストロインタビュー」は好評を博した。また、公演前のリハーサルや演奏者の横顔などをツイッターで現場から発信してコンサートの魅力を伝え、当日券を含む1回券の販売促進を図った。

一方で、2018年度は、大雨による公演中止や出演者の体調不良による交代、名誉客演指揮者アンドレ・プレヴィンの訃報などをその都度迅速に発信し、お客さまの不安や関心に応えた。

こうしたインターネットの活用はチケット販売でも進んでおり、「WEBチケットN響」の利用率は主催公演の取り扱いチケット全体の70%を超えている。また、定期会員制度のWEB手続きを拡充したことで、会員の関心が高い座席選びや席替え、更新手続きが容易となり、顧客の利便性の向上につながった。

2. 英語化の推進

増え続ける外国人観光客や留学生に向けた広報物の英語化にも力を入れた。年1回発行しているブローチャー（N響紹介冊子）の内容とデザインを大幅に刷新し、英語の記述をさらに充実させた。また、機関誌の「フィルハーモニー」やホームページに掲載した曲目解説、出演者の経歴なども英語版を加えた。公演に訪れた留学生アンケートでも評価する声が多く寄せられた。

3. ハイレゾ音源による演奏会のストリーミングの試み

当団の演奏会をより多くの皆さまにお聴きいただくための高音質のストリーミング配信の試行を引き続き行った。これは当団と株式会社インターネットイニシアティブが協力して行っているもので、2018年度は「オーチャード定期」（6月）をハイレゾ音源で収録して IIJ ハイレゾストリーミングサービスで2か月間にわたって無料で配信した。オンデマンド配信の試験としては5回目となり、最適な収録の方式などについてなお試験を重ね、実用化に向けて配信会社や公演主催者などと協議を進めている。

V 社会貢献活動

1. 室内楽を利用したアウトリーチ

(1) 「NHKこども音楽クラブ」

「N響がやってきた」のキャッチフレーズのもと、NHKと共催で実施をして12年目。当団メンバーによる室内楽演奏会をこれまで118回実施し、参加者は4万4000人を超えた。

2018年度は、東日本大震災や熊本地震の被災地、外国人児童の多い学校など全国の小中学校11か所で開催した。大分県日田市と宮城県気仙沼市では、ピアニストの小山実稚恵さんが特別出演。また群馬県大泉町では、多くのブラジル人学校の子どもたちに向けて演奏と楽器体験を行った。

2018年度のコンサートの様子は、子どもたちの表情と合わせてコンパクトに編集されNHKのホームページで紹介されている。

(2) 病院でのコンサート

東京都港区にある東京大学医科学研究所附属病院で1月に行った。

(3) 地元自治体向け活動

練習所がある港区と連携して、10月に三田中学校での学校コンサート、1月には赤坂区民ホールで区民向けのコンサートを行った。

2. 国際交流活動

(1) ベトナム国立交響楽団との友好関係の締結

ベトナム国立交響楽団とは、これまで当団の楽員を派遣して演奏会への参加や練習指導を行うなどの交流を行ってきたが、オーケストラ相互の交流を進めることを目的とした友好関係の締結を内容とする覚書を新たに交わし、具体的な交流事業を行っていくこととした。

なお、9月の当団ベトナム公演の実施にあたってはベトナム側の受け入れ窓口として様々な協力をいただいた。

(2) 留学生招待

首都圏の大学で学ぶ外国人留学生を招待。21の定期公演と特別演奏会 Music Tomorrow の計 22 公演で実施し、1,391 人が来場した。

3. N響アカデミー

日本のオーケストラの若手演奏家の育成を目的に 2003 年にスタートした事業。2018 年度末までに 42 人の若手がこのアカデミーから巣立ち、当団を含め日本、海外のオーケストラなどで活躍している。

2019 年 4 月末現在 11 人が在籍しており、楽員によるレッスンの受講やリハーサル見学、楽員の指導のもとで演奏会に出演するなどの研鑽を積んでいる。

4. 歴史的資料の保存

2026 年の創立 100 周年に向けて、当団創設以来の歴史的な資料を収集、整理する作業を引き続き進め、2018 年度は、楽員 O B へのインタビュー取材も行った。また、「フィルハーモニー」では「N響 100 年史」と題した連載企画を始めた。こうした資料や寄稿などは 100 周年のデジタルアーカイブスや記念誌にいかしていく。

VI 顕彰の実施

1. 尾高賞

故・尾高尚忠氏の功績をたたえ、邦人作曲家による優れたオーケストラ作品を顕彰するために1952年に設けた作曲賞。

第67回となる2018年度は、藤倉大氏の《Glorious Clouds for Orchestra(2016/17)》が選ばれた。

受賞作品は、2019年5月のMusic Tomorrow2019で演奏された。

2. 有馬賞

故・有馬大五郎氏（元・当団副理事長）の偉業を記念して、1981年に設けた。当団の発展に功績のあった関係者、関係団体、職員が授賞の対象。

2018年度は、横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）と、茂木大輔（当団オーボエ首席奏者 2019年3月定年により退団）に授与した。

VII 経営管理

1. 収支の適正化

「2018年度～2020年度中期経営方針」に基づき、「国際化」と「ICT化」を積極的に推進するべく、安定した財政の運営に努めた。一方で、西日本豪雨や台風といった自然災害による公演の中止など、収支は厳しい状況を余儀なくされた。

そのような中、インターネットを活用した周知宣伝やチケット販売などによる集客、企業等への寄付の働きかけに力を入れて収入の確保に取り組んだ。また、海外から招聘する指揮者やソリストにかかる旅費や宿泊費をはじめとした経費の抑制、さらに日常業務の効率的な実施の徹底に心がけた。

なお、厳しい財政状況ではあったが、事業継続の視点から安定した演奏活動を運営する体制を整えるべく、楽員の採用や事務局の体制の見直しなどを行った。

2. 就業環境の整備・改善

2019年4月施行の新しい労働基準法に対応するため、必要な規程改定などの準備を行うとともに、改正労基法を踏まえた36協定を労使間で締結した。また、NHKグループ「働き方改革宣言」の実現に向けて、全職員向けの社内報「N響情報」をはじめ、事務局の定例会議などで改正労基法のポイントを周知するとともに、月1回の「働き方点検の日」を設けるなど、職員への意識喚起に努めた。

ハラスメント防止に向けては、顧問法律事務所の弁護士を講師に楽団員、事務局職員合同で「ハラスメント研修」を実施した。また、ハラスメント相談窓口については、社内報でも周知を行った。

VIII 業務の適正を確保するための体制の評価

当団の全体的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」という6つの観点から、整備状況および運用状況の有効性を評価した。また、業務上考えられる重要なリスクを抽出した上で、必要な対応(内部統制)が実施されていることを評価した。評価の結果、2019年3月31日時点における当団の内部統制は、概ね有効であると判断した。

Ⅸ 法人の概況

1. 設立年月日

1942年4月27日

1926年10月5日 「新交響楽団」(任意団体)設立

1942年4月27日 「財団法人 日本交響楽団」設立

1951年8月1日 「財団法人 NHK交響楽団」に改称

2010年4月1日 「公益財団法人 NHK交響楽団」設立

2. 目的

交響管弦楽により、わが国音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成することをもって目的とする。

3. 事業内容

- (1) 放送演奏
- (2) 公開演奏
- (3) 演奏に必要な研究ならびに施設の運営
- (4) 機関雑誌の発行
- (5) その目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府

5. 会員状況 (2019年3月31日現在)

- (1) 定期会員 8,470人 (年間会員およびシーズン会員合計)
- (2) 賛助会員 192社 282口 (1口50万円)

6. 特別支援・協力企業

(1) 特別支援企業

岩谷産業株式会社、三菱地所株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社みずほ銀行、公益財団法人渋谷育英会

(2) 特別協力企業

BMWジャパン、ユナイテッド航空会社、全日本空輸株式会社、株式会社松尾楽器商会、ヤマハ株式会社、株式会社パレスホテル

7. 事務所所在地

- (1) 事務所・練習場・N響ガイド (入場券販売業務)
東京都港区高輪 2-16-49

X 処務の概況

1. 理事・監事および評議員に関する事項

(1) 理事・監事

(2019年3月31日現在)

役 職	氏 名	担当職務・現職
理 事 長	根本 佳則	
常務理事	唐木田 信也	演奏制作
常務理事	中野谷 公一	事業広報・経営管理
理 事	相川 直樹	慶應義塾大学 名誉教授
理 事	内永 ゆか子	NPO 法人 J-Win 理事長
理 事	岡田 知之	洗足学園音楽大学 名誉教授
理 事	木村 恵司	三菱地所 特別顧問
理 事	斉藤 邦彦	民間外交推進協会 顧問
理 事	銭谷 眞美	東京国立博物館 館長
理 事	團 宏明	日本棋院 理事長
理 事	毛利 衛	日本科学未来館 館長、宇宙飛行士
監 事	芦田 健	みずほ銀行 執行役員 営業第十八部長
監 事	伊藤 智実	日本放送協会 関連事業局副部長

(2) 評議員

(2019年3月31日現在)

役 職	氏 名	現 職
評 議 員	板野 裕爾	NHKエンタープライズ 代表取締役社長
評 議 員	上田 良一	日本放送協会 会長
評 議 員	江頭 敏明	三井住友海上火災保険 常任顧問
評 議 員	海老澤 敏	国立音楽大学 名誉教授
評 議 員	大橋 一三	NHKアイテック 代表取締役社長
評 議 員	鈴木 賢一	NHK厚生文化事業団 理事長
評 議 員	檀 ふみ	女優
評 議 員	前田 昭雄	上野学園大学 特別顧問
評 議 員	三浦 惺	日本電信電話 特別顧問
評 議 員	森永 公紀	NHK出版 代表取締役社長
評 議 員	山口 均	菊葉文化協会 専務理事

2. 理事・監事および評議員の異動に関する事項

区 分	年 月 日	退 任	新 任
理事長	2018年6月6日	今井 環	根本 佳則
副理事長	2018年6月6日	森 茂雄	—
常務理事	2018年7月1日	—	中野谷 公一
監 事	2018年6月6日	後藤 宏彦	伊藤 智実
評議員	2018年6月6日	井上 樹彦	大橋 一三

3. 職員に関する事項

(2019年3月31日現在)

職 種	人 数	平均年齢
楽 員	102人	44.0歳
事務職員	20人	46.6歳
嘱託職員	15人	61.9歳
合計または平均	137人	46.3歳

注) 2019年3月31日退職者は含まず

4. 会議に関する事項

(1) 理事会の開催状況

区 分	年 月 日	議 題
第45回理事会	2018年5月16日	1. 業務運営状況報告 2. 2017年度事業報告及び収支決算 3. 第28回評議員会の開催
第46回理事会	2018年6月6日	1. 代表理事の選任 2. 業務執行理事の選任
第47回理事会	2018年6月27日	1. 常勤理事3名の報酬
第48回理事会	2018年12月3日	1. 第29回評議員会の開催
第49回理事会	2019年2月8日	1. 2019年度事業計画および収支予算

(2) 評議員会の開催状況

区 分	年 月 日	議 題
第 28 回評議員会	2018 年 6 月 6 日	1. 2017 年度事業報告及び決算 2. 評議員の選任 3. 理事の選任 4. 監事の選任
第 29 回評議員会	2019 年 2 月 8 日	1. 2019 年度事業計画及び収支予算

XI 理事および監事に支払った報酬の額

当事業年度における当財団の理事および監事に対する報酬の内容は、以下のとおり。

対象者	人数	報酬の額
理 事	11 人	49,223 千円
監 事	2 人	0 千円

注) 上記のうち、非常勤理事 8 名、非常勤監事 2 名には報酬を支払っていない。

<資料 1 >

2018 年度公演概要

公演	年間公演回数	年間入場者	内容
定期公演	54 回	116,577 人	Aプログラム 18回 Bプログラム 18回 Cプログラム 18回
特別公演	8 回	19,850 人	Music Tomorrow、N響「夏」、 松山公演、N響ほっとコンサート、 「第九演奏会」4回
地方公演	10 回	14,647 人	大分、宮崎、鹿児島、熊本、大津、奈良、 西宮、大阪、京都、NHK音楽祭 (鳥栖は大雨により中止)
外国公演	3 回	—	ホーチミン、ハノイ、香港
契約公演	36 回	—	東京春音楽祭、東京文化会館、オーチャ ード定期、東京芸術劇場、東京オペラシ ティ、かつしかシンフォニーヒルズ、サ ントリーホール、NHK厚生文化事業 団「第9」、横浜、川崎、さいたま、草 加、市川、足利、磐田、軽井沢、豊田、 姫路、宜野湾、下関、福山、津、新潟、 郡山、いわき、福岡、福井、名古屋、高 松、長岡 (安城(愛知県)公演は、悪天候のため 主催者の判断で中止)
放送演奏	5 回	—	「名曲アルバム」録音、「大河ドラマ」 テーマ曲録音、放送記念日式典、 「RUN! HOPE! RUN! ～N響×大友良英 ×いだてんコンサート」

<資料 2 >

2018 年度 演奏活動実績

◆定期公演 (A, C : NHKホール、B : サントリーホール)

4 月	A	第 1882 回 4/14. 15 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット ベルワルド：交響曲第 3 番ハ長調「風変わりな交響曲」 ベルリオーズ：幻想交響曲作品 14
	B	第 1884 回 4/25. 26 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット ベートーヴェン：交響曲第 8 番ハ長調作品 93 ベートーヴェン：交響曲第 7 番イ長調作品 92
	C	第 1883 回 4/20. 21 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット Pf. マリア・ジョアン・ピレシユ ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 4 番ト長調作品 58 ベートーヴェン：交響曲第 4 番変ロ長調作品 60
5 月	A	第 1885 回 5/12. 13 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Vn. クリスティアン・テツラフ ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 61 シベリウス：交響詩「4つの伝説」作品 22
	B	第 1887 回 5/23. 24 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ミューズの神を率いるアポロ」 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「カルタ遊び」 ストラヴィンスキー：3 楽章の交響曲
	C	第 1886 回 5/18. 19 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Pf. アレクサンドル・トラーゼ トルミス：序曲第 2 番 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第 2 番ハ長調作品 102 ブルックナー：交響曲第 1 番ハ短調(1866 年リンツ稿/ノヴァーク版)
6 月	A	第 1888 回 6/9. 10 指揮 ウラディーミル・アシュケナージ Pf. ジャン・エフラム・バヴゼ イベール：祝典序曲 ドビュッシー：ピアノと管弦楽のための幻想曲 ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲 ドビュッシー：交響詩「海」
	B	第 1890 回 6/20. 21 指揮 尾高忠明 Vc. マリオ・ブルネロ カバレフスキー：チェロ協奏曲第 2 番ハ短調作品 77(1964) チャイコフスキー：交響曲第 5 番ホ短調作品 64
	C	第 1889 回 6/15. 16 指揮 ウラディーミル・アシュケナージ Vn. 庄司紗矢香 Pf. ヴィキンガー・オラフソン メンデルスゾーン：ヴァイオリンとピアノのための協奏曲ニ短調 コダーイ：組曲「ハーリ・ヤーノシュ」 ヤナーチェク：タラス・ブーリバ

9月	A	<p>第 1891 回 9/15. 16 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Sop. アンナ・ルチア・リヒター ヨハン・シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」序曲 ヨハン・シュトラウスⅡ世：ワルツ「南国のバラ」作品 388 ヨハン・シュトラウスⅡ世：ポルカ「クラブフェンの森で」作品 336 ヨハン・シュトラウスⅡ世：：皇帝円舞曲作品 437 ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「うわごと」作品 212 マーラー：交響曲第 4 番ト長調</p>
	B	<p>第 1893 回 9/26. 27 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Hr. ラデク・バボラーク シューベルト：交響曲第 3 番ニ長調 D. 200 R. シュトラウス：ホルン協奏曲第 2 番変ホ長調 ベートーヴェン：「プロメテウスの創造物」序曲 ハイドン：交響曲第 102 番変ロ長調 Hob. I -102</p>
	C	<p>第 1892 回 9/21. 22 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Sop. ヨハンナ・ルサネン Br. ヴィツレ・ルサネン 合唱/エストニア国立男声合唱団 シベリウス：「レンミンケイネンの歌」作品 31-1 シベリウス：「サンデルス」作品 28 シベリウス：交響詩「フィンランディア」作品 26(男声合唱付き) シベリウス：「クレルヴォ」作品 7</p>
10月	A	<p>第 1894 回 10/13. 14 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット モーツァルト：交響曲第 38 番ニ長調 K. 504 「プラハ」 ブルックナー：交響曲第 9 番ニ短調</p>
	B	<p>第 1896 回 10/24. 25 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット ベートーヴェン：交響曲第 6 番ハ長調作品 68 「田園」 ステンハンマル：交響曲第 2 番ト短調作品 34</p>
	C	<p>第 1895 回 10/19. 20 指揮 ヘルベルト・ブロムシュテット ハイドン：交響曲第 104 番ニ長調 Hob. I -104 「ロンドン」 マーラー：交響曲第 1 番ニ長調「巨人」</p>
11月	A	<p>第 1899 回 11/24. 25 指揮 広上淳一 Org. 鈴木優人 バーバー：シェリーによる一場面のための音楽作品 7 コープラント：オルガンと管弦楽のための交響曲 アイヴズ：交響曲第 2 番</p>
	B	<p>第 1898 回 11/14. 15 指揮 ジャナンドレア・ノセダ Vc. ナレク・アフナジャリヤン レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第 1 組曲 ハイドン：チェロ協奏曲第 1 番ハ長調 Hob. VIIb-1 ラフマニノフ：交響的舞曲作品 45</p>

	C	第 1897 回 11/9.10 指揮 ジャナンドレア・ノセダ Pf. アリス・紗良・オット ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 プロコフィエフ：バレエ組曲「ロメオとジュリエット」(抜粋)
12 月	A	第 1900 回 12/1.2 指揮 アレクサンドル・ヴェデルニコフ Pf. アンドレイ・コロベイニコフ スヴィリドフ：組曲「吹雪」ーブーシキン原作の映画から スクリャーピン：ピアノ協奏曲嬰へ短調作品 20 グラズノフ：交響曲第 7 番へ長調作品 77「田園」
	B	第 1902 回 12/12.13 指揮 ウラディーミル・フェドセーエフ 児童合唱 NHK 東京児童合唱団 チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」作品 71
	C	第 1901 回 12/7.8 指揮 トーマス・ヘンゲルブロック 合唱 バルタザール・ノイマン合唱団 バッハ：組曲第 4 番ニ長調 BWV1069 バッハ（シェーンベルク編）：前奏曲とフーガ変ホ長調 BWV552 「聖アン」 バッハ：マニフィカト ニ長調 BWV243(クリスマス用挿入曲付き)
1 月	A	第 1905 回 1/26.27 指揮 トゥガン・ソヒエフ Hp. グザヴィエ・ドゥ・メストレ Va. 佐々木亮 リヤードフ：交響詩「バーバ・ヤガー」作品 56 グリエール：ハーブ協奏曲変ホ長調作品 74 ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」作品 16
	B	第 1904 回 1/16.17 指揮 トゥガン・ソヒエフ フォーレ：組曲「ペレアスとメリザンド」作品 80 ブリテン：シンプル・シンフォニー作品 4 リムスキー・コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品 35
	C	第 1903 回 1/11.12 指揮 ステファヌ・ドゥネーヴ Vc. ゴーティエ・カブソン ルーセル：バレエ組曲「バックカスとアリアース」第 2 番 サン・サーンス：チェロ協奏曲第 1 番イ短調作品 33 ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」作品 9 レスピーギ：交響詩「ローマの松」
2 月	A	第 1906 回 2/9.10 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Vn. アリョーナ・バーエワ R. シュトラウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品 8 ハンス・ロット：交響曲第 1 番ホ長調
	B	第 1908 回 2/20.21 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ ストラヴィンスキー：幻想曲「花火」作品 4 ストラヴィンスキー：幻想的スケルツォ作品 3 ストラヴィンスキー：ロシア風スケルツォ ストラヴィンスキー：葬送の歌作品 5 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

	C	第1907回 2/15.16 指揮 パーヴォ・ヤルヴィ Pf. アレクサンダー・ガヴリリョク ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18 プロコフィエフ：交響曲第6番変ホ短調作品111
--	---	--

◆特別公演

6月	Music Tomorrow 2018 <6/26> 東京オペラシティコンサートホール 指揮：ステファン・アズベリー Ob. フランソワ・ルルー 鈴木純明：リユーベックのためのインヴェンションⅢ「夏」(2018) [N響委嘱作品・世界初演] 坂田直樹：組み合わせられた風景(2016)[第66回尾高賞受賞作品] マクミラン：オーボエ協奏曲(2010)[日本初演] マシューズ：ターニング・ポイント(2006)[日本初演]
7月	N響「夏」2018 <7/20> NHKホール 指揮：ユッカ・ペッカ・サラステ Vn. バイバ・スクリデ シベリウス：アンダンテ・フェスティヴァーヴォ シベリウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品47 ブラームス：交響曲第1番ハ短調作品68
	松山公演 <7/22> ひめぎんホール N響「夏」2018と同プログラム
8月	ほっとコンサート <8/5> NHKホール 指揮：熊倉優 Sax. 上野耕平 ナビゲーター・ナレーション：加藤綾子 ジョン・ウィリアムズ：映画「スター・ウォーズ」— メイン・タイトル ブリテン：青少年の管弦楽入門(ナレーションつき) ミヨー：スカラムーシュ ショスタコーヴィチ：交響曲第10番ハ短調—第2楽章 メシアン：「トゥランガリラ交響曲」— 第5楽章「星たちの血の喜び」
12月	第九公演 <12/22, 23, 24> NHKホール <12/27> サントリーホール 指揮：マレク・ヤノフスキ S/藤谷佳奈枝 A/加納悦子 T/ロバート・ディーン・スミス Br/アルベルト・ドーメン 合唱/東京オペラシンガーズ ベートーヴェン：交響曲第9番ニ短調作品125「合唱つき」 (サントリーのみ前プロあり) Org/勝山雅世 ブクステフーデ/前奏曲ニ長調 バッハ/パストラーレハ長調 BWV590 — 第1楽章 ギルマン/オルガン・ソナタ第1番ニ短調作品42— 第3楽章

◆外国公演

9月	ホーチミン公演 <9/5> ホーチミン市オペラハウス 指揮：井上道義 Vn. クリスティアン・テツラフ チャイコフスキー：歌劇「エフゲーニ・オネーギン」から “ポロネーズ” ラロ：スペイン交響曲ニ短調作品 21 チャイコフスキー：交響曲第 4 番へ短調作品 36	ベトナム
	ハノイ公演 <9/7> ハノイ・オペラハウス ホーチミン公演と同じプログラム	
2月	香港アート・フェスティバル <2/28> 香港文化センターコンサートホール 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ Pf. ツウオ・チャン 武満徹：ハウ・スロー・ザ・ウィンド ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 プロコフィエフ：交響曲第 6 番変ホ短調作品 111	中国

◆地方公演

10月	NHK音楽祭 <10/1> NHKホール 指揮：パーヴォ・ヤルヴィ S/オルガ・ペレチャッコ CT/マックス・エマヌエル・ツェンチッチ Br/ベンジャミン・アップル 合唱/新国立劇場合唱団 児童合唱/NHK 東京児童合唱団 ドビュッシィ：牧神の午後への前奏曲 オルフ：踊る牧神(日本初演) オルフ：世俗的カンタータ「カルミナ・ブラーナ」
7月	大分公演 <7/8> iichiko グランシアタ 宮崎公演 <7/10> メディキット県民文化センター 鹿児島公演 <7/11> 鹿児島市民文化ホール 熊本公演 <7/12> 熊本県立劇場 指揮：ウラディーミル・フェドセーエフ Vc. タチアナ・ヴァシリエヴァ ムソルグスキー (リムスキー・コルサコフ編)：交響詩「はげ山の一夜」 チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲作品 33 ショスタコーヴィチ：交響曲第 5 番ニ短調作品 47
8月	大津公演 <8/24> びわ湖ホール 奈良公演 <8/25> 奈良県文化会館 西宮公演 <8/26> 兵庫県立芸術文化センター 指揮：下野竜也 Pf. リーズ・ドゥ・ラ・サール ニコライ：歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第 2 番ハ短調作品 18 ベートーヴェン：交響曲第 5 番ハ短調作品 67「運命」
1月	大阪公演 <1/20> NHK大阪ホール 1月B定期と同プログラム
2月	京都公演 <2/1> ロームシアター京都 指揮：ロベルト・フォレス・ベセス Pf. ソン・ヨルム チャイコフスキー：歌劇「エフゲーニ・オネーギン」から “ポロネーズ” チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調作品 23 ドヴォルザーク：交響曲第 7 番ニ短調作品 70

◆放送関連

5月	名曲アルバム録音 <5/31> NHK509st. 指揮：沼尻竜典 Sop. 砂川涼子 合唱：東京混声合唱団 モーツァルト：レクイエム K. 626 から フォーレ：レクイエム作品 48 から
10月	大河ドラマ録音 <10/3> NHK509st. 指揮：下野竜也 大友良英：大河ドラマ「いだてん」メインテーマ ほか
11月	名曲アルバム録音 <11/6> NHK509st. 指揮：高関健 チャイコフスキー：序曲「1812年」作品 49 (カット版) ショスタコーヴィチ：交響曲第5番ニ短調作品 47 第4楽章 (カット版)
3月	「RUN! HOPE! RUN! ～N響×大友良英×いだてんコンサート」 <3/10> NHKホール 指揮：下野竜也 合唱：新国立劇場合唱団 大友良英スペシャルビックバンド、芳垣安洋オルケスタ・ナッジ! ナッジ! ほか 大友良英：大河ドラマ「いだてん」からメインテーマ 池辺晋一郎：大河ドラマ「黄金の日々」からメインテーマ 黛敏郎：映画「東京オリンピック」からオープニング ほか
	第94回放送記念日式典 <3/15> NHKホール 指揮：外山雄三 ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第一幕への前奏曲

◆契約公演

4月	東京・春・音楽祭 <4/5, 8> 東京文化会館 指揮：ウルフ・シルマー ローエングリン/クラウス・フロリアン・フォークト エルザ/レジーネ・ハングラウ テルラムント/エギルス・シリンス オルトルート/ペトラ・ラング ハイニンリッヒ王/アイン・アンガー 式部官/甲斐栄次郎 合唱：東京オペラシンガーズ ワーグナー：楽劇「ローエングリン」(演奏会形式)
	オーチャード定期 <4/29> オーチャードホール 4月B定期と同プログラム
5月	N響ゴールデン・クラシック2018 <5/3> 東京文化会館 指揮：アンドリス・ポーガ Pf. 清水和音 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番変ロ短調作品 23 チャイコフスキー：交響曲第6番ロ短調作品 74「悲愴」
	軽井沢公演 <5/4> 軽井沢大賀ホール 「N響ゴールデン・クラシック2018」と同プログラム
	磐田公演 <5/5> 磐田市民文化会館 「N響ゴールデン・クラシック2018」と同プログラム

	<p>かつしか公演 <5/27> かつしかシンフォニーヒルズ 指揮：広上淳一 Vn. 小林美樹 チャイコフスキー：歌劇「エフゲーニ・オネーギン」から“ポロネーズ” チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 35 グリーグ：「ペール・ギュント」組曲第 1 番 グリーグ：「ペール・ギュント」組曲第 2 番</p>
	<p>豊田公演 <5/28> 豊田市コンサートホール かつしか公演と同プログラム</p>
6 月	<p>オーチャード定期 <6/3> オーチャードホール 指揮：ウラディーミル・アシュケナージ Pf. アリス・紗良・オット チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調作品 23 チャイコフスキー：交響曲第 5 番ホ短調作品 64</p>
	<p>草加公演 <6/30> 草加市文化会館 指揮：尾高忠明 Pf. 小山実稚恵 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲作品 43 ラフマニノフ：交響曲第 2 番ホ短調作品 27</p>
	<p>姫路公演 <7/1> 姫路市文化センター 草加公演と同プログラム</p>
	<p>沖縄公演 <7/14> 沖縄コンベンションセンター 地方公演（九州）と同プログラム</p>
7 月	<p>N響「夏」2018大阪公演 <7/21> ザ・シンフォニーホール 「N響夏2018」と同プログラム</p>
	<p>下関公演 <7/24> 下関市民会館 「N響夏2018」と同プログラム</p>
	<p>福山公演 <7/30> ふくやまリーデンローズ 指揮：キンボー・イシイ Vn. 郷古 廉 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 77（第 1 楽章のみ） ブラームス：交響曲第 2 番ニ長調作品 73</p>
	<p>川崎公演 <8/4> ミューザ川崎 指揮：熊倉優 Sax. 上野耕平 ブリテン：青少年の管弦楽入門 グラズノフ：サクソフオーン協奏曲変ホ長調 ショスタコーヴィチ：交響曲第 10 番ホ短調作品 93</p>
	<p>津公演 <8/23> 三重県文化会館 地方公演（8月近畿地方）と同プログラム</p>
8 月	<p>N響 Jazz <8/31> 東京芸術劇場 指揮 ジョン・アクセルロッド Pf. 塩谷 哲 バーンスタイン：『キャンディード』序曲 バーンスタイン：バレエ音楽『ファンシー・フリー』からダンソン ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー* 塩谷哲：スパニッシュ・ワルツ* ファリャ：歌劇『はかない人生』から間奏曲とスペイン舞曲 マルケス：ダンソン第 2 番 トゥリーナ：交響詩「幻想舞曲集」作品 22 I. 熱狂 II. 夢想 III. 饗宴 ヒナステラ：バレエ音楽『エスタンシア』からマランボ</p>

10月	<p>さいたま公演 <10/6> 埼玉会館 指揮：井上道義 Vn. 辻 彩奈 モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調 K. 219 「トルコ風」 ブラームス：交響曲第4番ホ短調作品98</p>
	<p>新潟公演 <10/7> 新潟りゅーとぴあ さいたま公演と同プログラム</p>
	<p>郡山公演 <10/28> 郡山市民文化センター 指揮：下野竜也 Vn. 三浦文彰 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K. 216 ブルックナー：交響曲第4番変ホ長調「ロマンチック」</p>
11月	<p>NTT東日本公演 <11/1> 東京オペラシティコンサートホール 指揮 高関健 Pf. パスカル・ロジェ デュカス：魔法使いの弟子 ラヴェル：道化師の朝の歌 ラヴェル：スペイン狂詩曲 サン・サーンス：ピアノ協奏曲第2番ト短調作品22 ラヴェル：ボレロ</p>
	<p>市川公演 <11/4> 市川市文化会館 指揮 高関 健 Pf. 松田華音 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18 チャイコフスキー：交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」</p>
	<p>足利定期 <11/17> 足利市民会館 11月B定期と同プログラム</p>
	<p>いわき定期 <11/18> いわきアリオス 11月B定期と同プログラム</p>
12月	<p>福岡公演 <12/16> アクロス福岡 12月B定期と同プログラム</p>
	<p>NHK厚生文化事業団 第九公演 <12/26> NHKホール 12月第九公演と同プログラム</p>
1月	<p>オーチャード定期 <1/6> オーチャードホール 指揮 ステファヌ・ドゥネーヴ Vn. チェ・イエウン シャプリエ：狂詩曲「スペイン」 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調作品64 ラヴェル：組曲「マ・メール・ロワ」 ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ ラヴェル：バレエ音楽「ラ・ヴァルス」</p>
	<p>横浜定期 <1/19> 横浜みなとみらいホール 1月B定期と同プログラム</p>
	<p>都民芸術フェスティバル <1/30> 東京芸術劇場 地方公演（2月京都）と同プログラム</p>
2月	<p>福井公演 <2/2> ハーモニーホールふくい 地方公演（2月京都）と同プログラム</p>
	<p>名古屋定期 <2/24> 愛知県芸術劇場 2月B定期と同プログラム</p>

3月	<p>オーチャード定期 <3/16> オーチャードホール 指揮:ガエタノ・デスピノーサ Pf. 反田恭平 ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲 マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲 プッチーニ: 歌劇「マノン・レスコー」第3幕への間奏曲 ヴェルディ: 歌劇「ナブッコ」序曲 ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲 ラフマニノフ: パガニーニの主題による狂詩曲作品 43 ラヴェル: ボレロ</p>
	<p>高松公演 <3/18> レクザムホール (香川県県民ホール) オーチャード公演と同プログラム</p>
	<p>長岡公演 <3/22> 長岡市立劇場 指揮 秋山和慶 Pf. 仲道郁代 ベートーヴェン: 「エグモント」序曲 ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第4番ト長調作品 58 ベートーヴェン: 交響曲第7番イ長調作品 92</p>